



闘病児を人形で応援

沖縄キワニス 真和志高に感謝状

沖縄キワニスクラブ（我喜屋優会長）は20日、布製人形の「キワニストール」を作成する真和志高校のキワニストール制作同好会に感謝状を贈呈した。

長さ40センチのキワニストールは入院中の子どもから治療や手術の不安を取り除く

効果があると思われ、世界各地のキワニスクラブが各国の小児科病院などに送る活動を展開している。

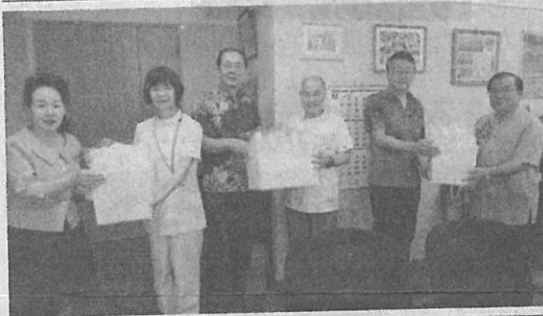
同制作同好会は顧問の新垣ゆう子先生の呼び掛けで昨年9月に結成、約10人の部員はでこれまでに約150体のキワニストールを制作している。県内で定期的にキワニストール制作をする団体は真和志高校だけで、作成したキワニストール

7

2017年9月23日付 琉球新報

ひと・暮らし 支えひろく

ルは沖縄キワニスクラブを通じて県内各地の小児科病院に配られている。部長の奥浜夏海さん（3年）は「誰かのためにと思い始めたが、作っていると自分も優しい気持ちになれる」とドール制作の魅力を語った。



「キワニストール」 中部病院に贈る

沖縄の団体が30体【つるま】子どものため

に奉仕活動を行う沖縄キワニスクラブ（我喜屋優会長）は7月26日、県立中部病院に布製人形の「キワニストール」30体を寄贈した

キワニストールは入院中の子どもから治療や手術の不安を取り除く効果があるとされ、世界各地のキワニスクラブが各国の小児科病院などに送る活動を展開している。

沖縄キワニスの井樋孝義事務局長は「子どもたちのための活動を広げていきたい」と話した。問い合わせは同事務局 ☎098（861）0333。

6

2017年8月15日付 琉球新報